

第50回記念 関西一線展

関西支部長 市川 紘子

- 会 期…令和3年7月20日(火)～25日(日)
- 会 場…奈良県立文化会館 1F・A 展示室
- 後 援…奈良県・奈良市

ホルベイン画材株式会社

毎日新聞社奈良支局

猛暑の中、世界中の新型コロナウイルス禍の中7月20日(火)～25日(日)までの6日間、第50回記念「関西一線展」を奈良県文化会館で開催しました。

昨年は新型コロナ禍で中止しましたが、今年はワクチン接種を考慮しての開催でした。搬入搬出には密にならないように注意して行いました。会場入り口ではコロナ感染拡大防止のため、検温、マスクの着用、観覧者の氏名・電話番号の記入をしてもらい、ペンの消毒を行いました。

また、目録は各自で取ってもらい、密にならないようお願いしました。



出品者は31名で作品数48点(遺作1点含む)初出品者は4名でした。今回、常総支部から、下澤邦夫様が初出品され、心強く思っています。奈良新聞などに掲載されましたが会期中は一年延期の東京オリンピック開催もあり、猛暑続きの中で観覧者は450人ほどの状況でしたが無事盛会裏に終わったと思っています。

第50回記念ということで過去の賞は考慮しないで慎重に厳正に審査されました。知事賞、市長賞と他の後援に、関西一線賞、奨励賞2名で賞には6名が選ばれました。



12時30分から表彰式を行い午後1時から講評会をしました。毎年親しい大先輩の丁寧な具体的なアドバイスがありましたが、今年は新型コロナの状況でなくなり残念でした。何とか第50回記念ということで講評会に奈良県美術協会(日本人物画協会会長・白日会)の経験豊かな川畑太先生をお願いしました。新型コロナ感染防止のため密を避けるためにマイクをさせていただき、一人3分間の、時間制限にしました。的確な助言、ご批評、丁寧なご指導、励ましのお言葉に感謝の気持ちでいっぱいです。大好評でした。

これらのお言葉を糧に2カ月後の本展に向けて気持ちを新たに制作に精進しようと思いました。

